２０２３年１月１日　第３４号

ＪＰ労組新潟連協退職者の会
〒951-8799 新潟市中央区東堀通
七番町 1018 新潟中郵便局内
発行責任者　会　長　戸田　庄一

明けましておめでとうございます。

JP労組新潟連協退職者の会　　会 長　戸 田 庄 一

明けましておめでとうございます。会員の皆さまには、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は皆さまの多大なご協力によりＪＰ労組の組織内議員として「しば慎一」参議院議員を誕生させることができました。

コロナ禍や立憲民主党の低迷等、厳しい選挙情勢にありましたが、立憲民主党候補者第４位の得票で当選することができました。あらためて御礼申し上げます。ありがとうございました。

しば議員には、課題山積の郵政各社の対応はもちろんのこと、劣化とおごりが強まるばかりの政治の流れを変えるべく、先輩である小沢議員とともにご奮闘されることを大いに期待致します。

2022 年の世相を表す漢字一字に「戦」が選ばれました。ロシアによるウクライナ侵攻、安倍元首相の襲撃事件等、多くの人々に不安を与えた出来事があったことからです。更には、３年目となるコロナとの戦いや円安物価高との生活の中での身近な戦いもあったとされています。

残念ながら、これらは何ら解決を見ないまま新しい年を迎えました。

岸田政権は、安倍元首相の襲撃事件で表面化した自民党と一宗教団体との根深いつながり・戦後の暗部を明らかにすることなく、ウクライナ侵攻等を利用しての防衛費増大等を目論んでいます。

政治の行方を注意深く監視していきたいと思います。

８年前の結成時に 2,400 人を超えていた新潟連協退職者の会は、昨年の４月、2,000 人を割ってしまいました。

結成時から年齢構成が高かったこと、郵政退職者の正社員比率が年々低くなっていること等の要因もありますが、対象者を組織しきれていないことも事実です。

新たな仲間が増えることこそ、組織の活性化に繋がります。会員並びに協力会員の拡大に集中する年にしたいと思います。

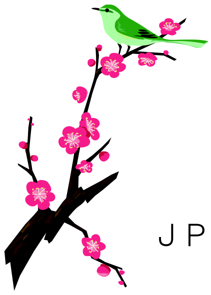
結びに、皆さまが健康でお元気に過ごされることを祈念し、年頭のあいさつと致します。

今年もよろしくお願いいたします。

本年もよろしく
お願い申し上げます

ＪＰ労組新潟連協
退職者の会 幹事会

会長	戸田 庄一
副会長	箱田 節子
事務局長	山田 太郎
幹事	大倉 一男
幹事	伊澤 敏
幹事	齋藤 徳明
幹事	佐藤 修一
幹事	揖斐 健次
幹事	内藤 義輝
幹事	渡辺 五四六
幹事	長谷川 正夫
幹事	市川 茂
幹事	池上 一義
会計監査	長谷川 慧輔
会計監査	米田 秀逸



新年のごあいさつ

ＪＰ労組新潟連絡協議会
議　長　　福　井　正　史

明けましておめでとうございます。

ＪＰ労組新潟連協退職者の会会員ならびにご家族の皆さまにおかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の第２６回参議院選挙では、「しば慎一」ＪＰ労組組織内議員を誕生させることができました。当選に向け会員の皆様からいただきましたご支援ご協力にあらためて感謝申し上げます。

ありがとうございました。

さて、本年は「“癸卯”（みずのと・う）」年とのことで、「これまでの努力が花開き、実り始めること」、というような縁起の良さを表しているそうです。

一昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大は、いまも私たちの生活に大きな影響を与えておりますが、この間の疲弊感から大きく飛躍し、私たちの生活が大きく向上する年となれば幸いです。

会員の拡大は、私たち現役から退職者の会員への声掛けや情報提供は勿論のこと、引き続き現退一体となり取り組みを進めて参りましょう。

本年が会員およびご家族の皆さまに幸多き年となりますよう、そして益々のご健勝をご祈念申し上げ、年頭にあたってのあいさつといたします。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

ＪＰ共済生協信越地方部
部　長　　米　持　正　道

あけましておめでとうございます。

退職者の会の皆さまには健やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、ＪＰ共済生協（ポストライフ）の取り組みにご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、ようやく収束するかにみえた新型コロナウイルス感染症ですが、まだまだ予断を許さない状況は続きそうです。

引き続き、ご自身をはじめ、ご家族の皆さまの感染予防対策を徹底され、お元気で毎日をお過ごしいただければと思います。

また、昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻や安倍元首相が銃撃されるなど、世界を震撼させる出来事がありましたし、沖縄復帰 50 年という節目の年でもありました。

そんな中でも地震や豪雨といった災害は全国各地で起きており、信越においても、年明けの豪雪に始まり、新潟県下越地方では、8 月 3 日～5 日にかけて、線状降水帯による大きな豪雨災害が起きてしまいました。災害は、いつ・どこでおきてもおかしくないという状況は本当に身近に感じられるようになりました。万が一への備えは適切か、改めてご確認いただきたいと思います。

コロナ禍で不便な生活はしばらく続きそうですが、本年が皆さまにとりまして、ご健勝で幸多き一年となりますようご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

参議院議員
小沢 雅仁

昨年はロシアによるウクライナへの軍事攻撃により多くの命が失われたことは胸が締め付けられる思いであり、改めて戦争の悲惨さと平和の大切さを痛感した年でもありました。
一方、国内では長引くコロナ禍と急激な円安によるエネルギーと物価の高騰や賃金水準の低迷により国民生活は困窮を極めております。私たち立憲民主党は、昨年８月に新体制をスタートさせ、日々の生活の中で感じる理不尽を一つひとつ地道に解決し、来たるべき統一地方自治体選挙の勝利を目指し「もっと良い未来」を追求して参ります。

参議院議員
柴 慎一

昨年の第２６回参議院議員選挙では、みなさまのご支援により、難波議員からの思いのこもったタスキを繋ぐことができました。先輩の小沢雅仁参議院議員とともに、働く者・生活者のための政治に全力で取り組んでいく決意です。
国際情勢の不安定化、環境・気候変動問題、少子高齢社会への対応、国民生活を直撃する物価高騰など、政治が取り組まなければならない課題は山積しています。働く者・ＪＰ労組の代表としての大きな責任を自覚し、日々研鑽に努めていきます。

投稿コーナー

（俳句）

ヒスイ色　宝石
　愛花　雪割草

老釣り士　鱈に
　フラれて鯛アタリ

ヒスイ浜　静かに
　能登へ　秋夕日

虎落笛　佐渡へ
　舞とぶウサギ波

上越支部糸魚川分会
玉久保秋光

長寿で健康 生き生きコーナー

コロナが収束し、再び笑顔で施設の皆さんと会える日を楽しみに！

西蒲原支部西川分会　渡辺イツ子さん(75 歳)

時が経つのは早いもので昨年から後期高齢者の仲間入りです。７５歳になりました。
敬老会の記念品もタオル、ジュース、クッキーなど、以前は弁当も出たと聞いていましたが、いまはコロナ禍でそれもなくなりました。
現在は趣味で「高砂学級」の舞踊部と手芸部に入っています。三年前までは、お年寄りなどが入所されている高齢者施設を毎日のように訪問し、踊りを披露して皆さんから楽しんでもらいましたが、コロナの影響でぷっつりとなくなってしまいました。
施設訪問はしばらくお休みですが、今年は二年ぶりに地域で芸能祭が行われることになりましたので、踊りの練習を十分に行い久しぶりにステージでの発表会となりました。また、手の空いた時には、少しですが近所の畑を借りて、いろいろな野菜をつくり楽しんでいます。
というのは、私の母が早くから認知症に罹ったので、私は、そうならないように、様々な活動を通じてより多くの人と接して、ボケないよう心掛けています。
とにかく今は、早くコロナが終息して再び施設の皆さんと笑顔で会えることを願っています。その日が来ることを楽しみに踊りの練習に汗を流しています。

＜高砂学級＞
高齢者の生きがい推進に向け、学習機会の提供や地域社会への参加推進及び世代間の理解促進のため、世代間交流事業などを通じて、これからの社会構造の変化にも対応できる高齢者を育成するための自治体の教育施設。

お知らせコーナー

新入会員の紹介

初めまして よろしく お願いします（敬称略）

支　部	氏　名	加入日
中　越	林　明則	2022年10月1日
佐　渡	大倉俊作	2022年10月3日
新　潟	一ノ瀬正雄	2022年10月31日
佐　渡	渡辺典雄	2022年11月20日
中　越	鈴木　豊	2022年11月28日

県内全支部の慶弔者名を掲載します

おめでとうございます

（2022年10月・11月）　（敬称

慶事	月	お名前	支部
喜寿	10月	藤井明次	新潟
		小田喜要策	下越
		桜井芳夫	新津
		上杉明芳	新津
		坂中春信	三条
		西山　稔	中越
		小関道生	上越
		竹内恵市	上越
	11月	渡辺公平	下越
		石田美代	新津
		渡辺豊作	中越
		高沢洋子	上越
		中嶋洋子	上越
		鈴木幸則	上越

お悔やみ申し上げます

（2022年８月～11月）（敬称略）

月	お名前	支部	ご逝去日
８月	芝原弘子	西蒲原	１７日
9月	目黒キシ	三条	２０日
	中村一禧	中越	２５日
10月	多田　誠	中越	３日
	佐藤祐一	下越	８日
	反町喜久	中越	８日
	西田節夫	上越	１５日
	中村次郎	下越	１７日
	斉藤子之春	上越	２１日
	杉本スエノ	上越	２３日
	柴野勝康	中越	２５日
11月	三原正夫	新津	８日
	難波　貢	下越	１５日
	多田静夫	上越	１８日
	釜田国宣	下越	２５日

あとがき

このコーナーを執筆している日付は12月15日、今年も様々な出来事があった。／10大ニュースとまではいかないが、特筆すべきはロシアのウクライナ侵攻である。最近は、ニュースを見ても当時のような憤怒の感覚が麻痺してきたようで怖い。／しば慎一選挙は、みんなよくやった。当選してよかった。この次はどんな取り組みになるやら今から不安が募る。／機関紙「春夏秋冬」の編集は、前任者から引継ぎ、今回で3回目となる。モノクロからカラーへと目先を変えてみた。読まれる身近な機関紙をめざし、会員からの投稿を期待したい。

俳句・短歌・川柳・絵手紙
絵画・写真・書・手作り作品など下記へご応募ください。

〒951-8799 新潟中郵便局内
ＪＰ労組新潟連協退職者の会
メール　niigatarenkyo@jprouso.or.jp